

佐野市景況レポート

令和7年1～3月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

トランプ関税により3カ月後の景況感は悪化か

【令和7年1～3月期 実績】

全業種業況DI指数は▲19.1、前期（12月期）比▲3.0ポイントと、市内事業所の業況感は前回12月の調査からやや悪化しました。

利益DI指数▲35.3（前期比▲7.8）、売上高DI指数▲19.4（前期比▲6.1）と、利益DI指数と売上高DI指数はともに悪化しました。また、原材料・仕入価格DI指数は57.2（前期比+2.8）、販売価格DI指数は16.4（前期比+1.7）と、原材料・仕入価格指数と販売価格指数はともに上昇しました。

また、今期の特徴は、資金繰りの悪化と労働力不足の緩和が挙げられました。

【令和7年4～6月期 見通し】

3カ月先の全業種業況DI指数は▲21.6（前期比▲4.6）と、業況感の悪化を予想しています。売上高DI指数▲21.0（前期比▲2.4）、原材料・仕入価格指数48.9（前期比+3.7）、販売価格指数12.7（前期比+3.5）と、前期予想に比べ、売上高指数は下落し、原材料・仕入価格指数と販売価格指数は増加しています。売上高指数の減少見通しが景況感悪化の見通しにつながったようです。

【事業所等の景況コメント他】

事業所等の景況コメントには前回同様に、①燃料価格・原材料・仕入価格の高騰、②人材不足、人件費の上昇に関するコメントが多く寄せられました。

飲食店のコメントには、『アルバイト不足により店を一時休業』、『仕入価格の上昇に売価改定が追いつかず、粗利が大幅減少』などの厳しい状況を示したコメントを頂きました。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績（令和7年1～3月期）		見通し（令和7年4～6月期）	
業 況	▲19.1		▲21.6	
売 上 高	▲19.4		▲21.0	
販 売 価 格	16.4		12.7	
仕 入 価 格	57.2		48.9	
労 働 力	▲20.4		—	—

* 天気図の説明
（数字はDI値）
・ 仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26 以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26 以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（令和7年1～3月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲19.1、前期比▲3.0 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

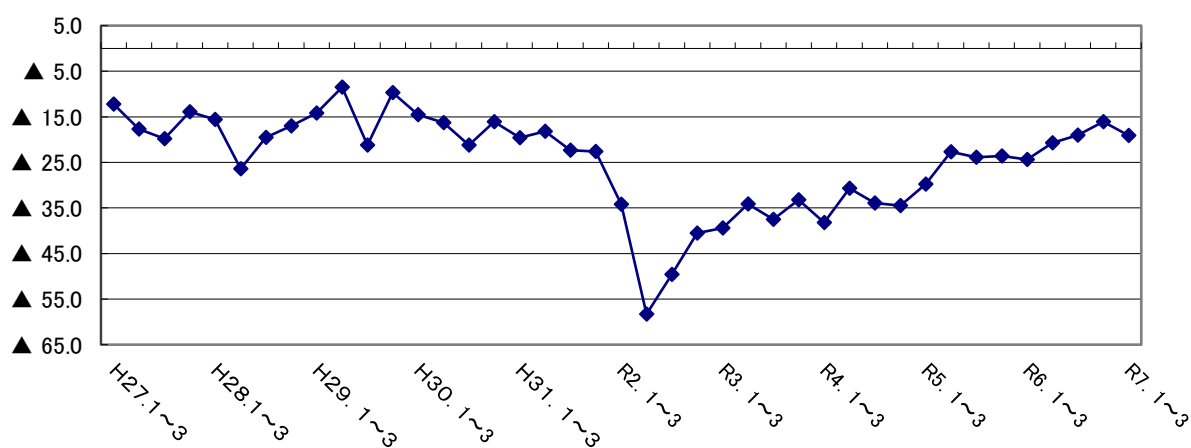
- ①建設業▲3.9 ポイント、②設備業▲6.7 ポイント、③サービス業▲11.7 ポイント、④繊維品製造業▲12.0 ポイント、⑤食品製造業▲13.0 ポイント

良い



悪い

業況(全体)



☆ 売上高について（令和7年1～3月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲19.4、前期比▲6.1 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

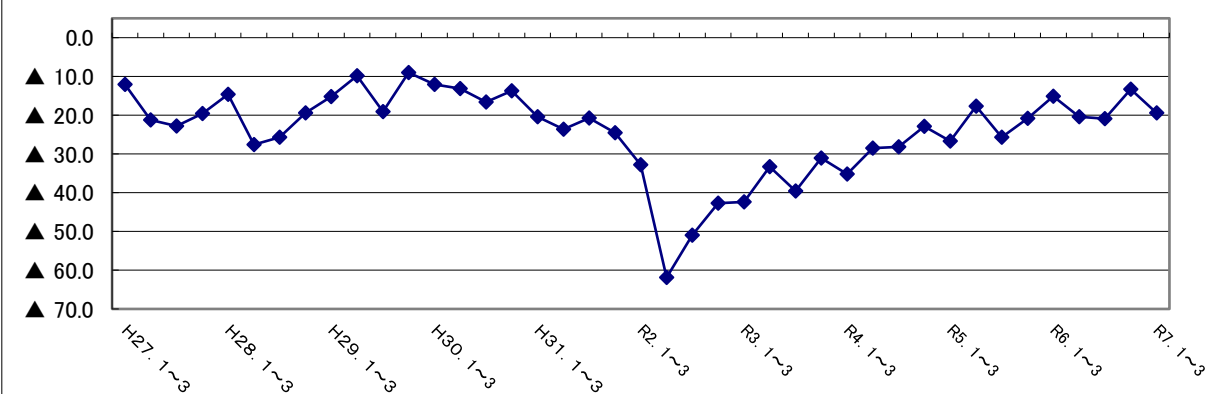
- ①繊維品製造業・小売業（飲・食料品）0.0 ポイント、②食品製造業▲6.7 ポイント、③その他の製造業▲14.3 ポイント、④設備業▲15.0 ポイント、⑤建設業▲16.2 ポイント

増加



減少

売上高(全体)



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和 7 年 1～3 月期実績）

天気図



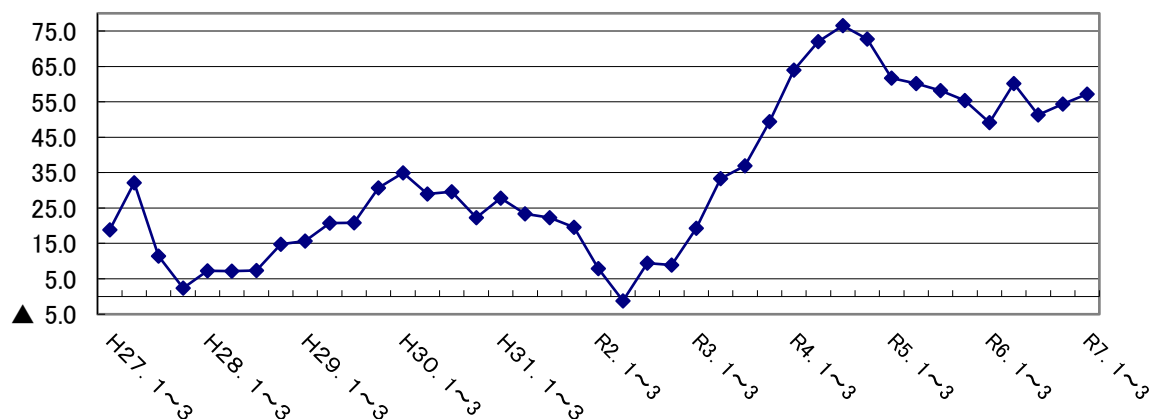
全業種 DI 指数 57.2、前期比 2.8 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①小売業(飲・食料品)85.7 ポイント、②卸売業 80.5 ポイント、③飲食店 80.0 ポイント、④設備業 78.9 ポイント、⑤建設業 63.6 ポイント

上昇
↓
下落

原材料仕入価格・仕入価格(全体)



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和 7 年 1～3 月期実績）

天気図



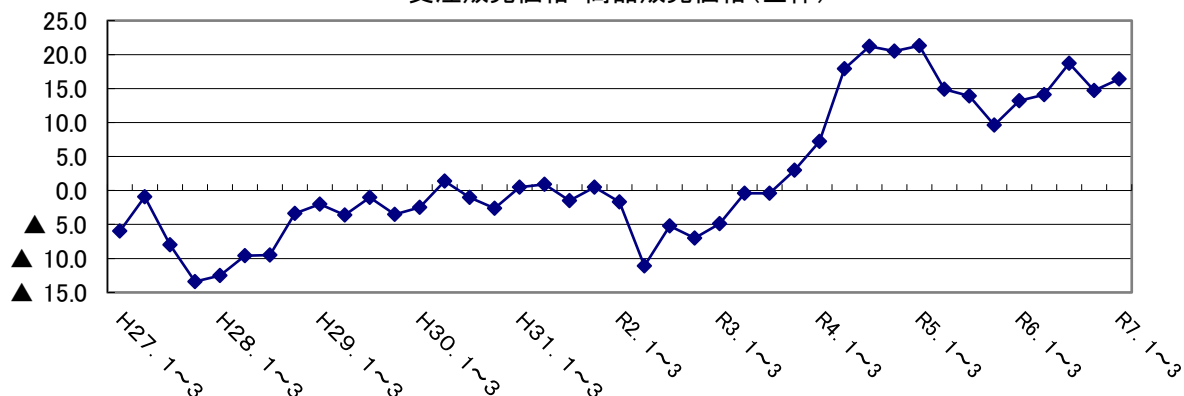
全業種 DI 指数 16.4、前期比 1.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業 42.9 ポイント、②小売業(飲・食料品)37.5 ポイント、③卸売業 26.1 ポイント、④その他の小売業(大型店含む)25.0 ポイント、⑤繊維品製造業 23.1 ポイント

上昇
↓
下落

受注販売価格・商品販売価格(全体)



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和7年1～3月期実績）

天気図



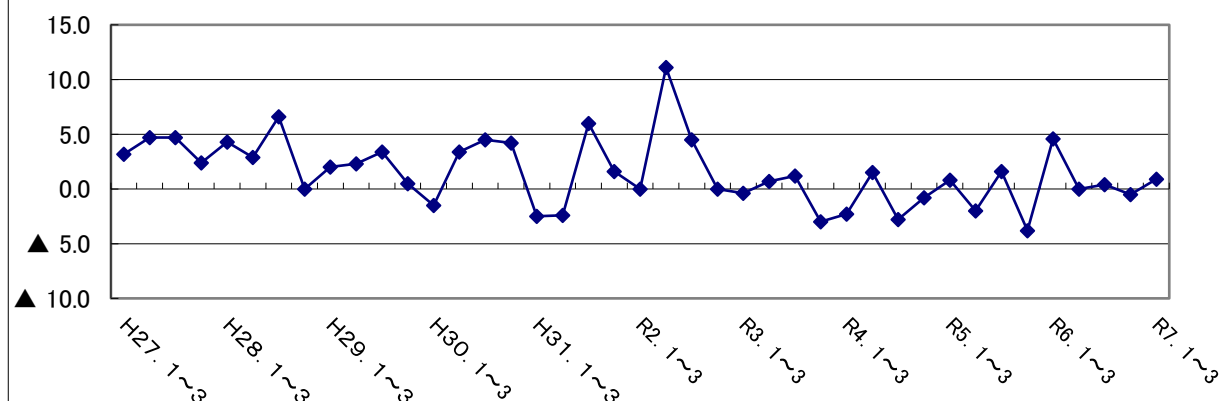
全業種 DI 指数 0.9、前期比 1.4 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①化学・プラスチック製造業 20.5 ポイント、②小売業(飲・食料品)8.6 ポイント、③食品製造業 6.4 ポイント、④その他の小売業(大型店含む)6.1 ポイント、⑤機械・金属製造業 4.2 ポイント

過大
↑
↓
不足

製品（材料）・商品在庫(全体)



☆ 利益状況について（令和7年1～3月期実績）

天気図



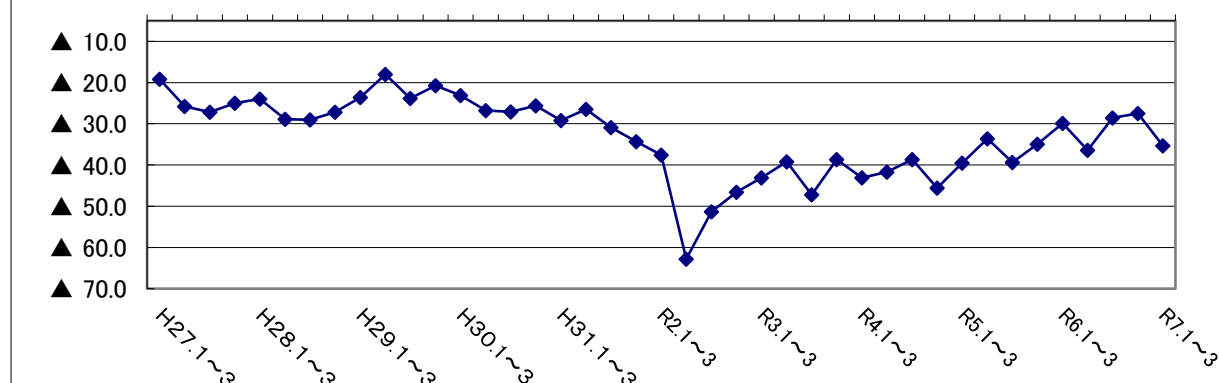
全業種 DI 指数▲35.3、前期比▲7.8 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①繊維品製造業 0.0 ポイント、②食品製造業▲13.0 ポイント、③機械・金属製造業▲26.5 ポイント、④その他の製造業▲27.3 ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲31.9 ポイント

増加
↑
↓
減少

利益状況(全体)



☆ 資金繰りについて（令和7年1～3月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲18.1、前期比▲4.1 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

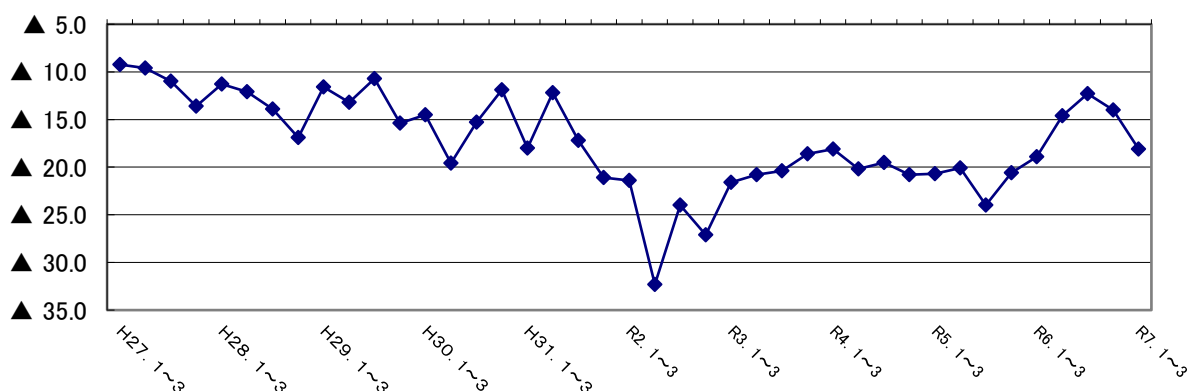
- ① 卸売業 0.0 ポイント、②建設業▲3.9 ポイント、③機械・金属製造業▲4.0 ポイント、④食品製造業▲6.7 ポイント、⑤小売業（飲・食料品）▲8.6 ポイント

楽



苦しい

資金繰り(全体)



☆ 労働力について（令和7年1～3月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲20.4、前期比 6.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

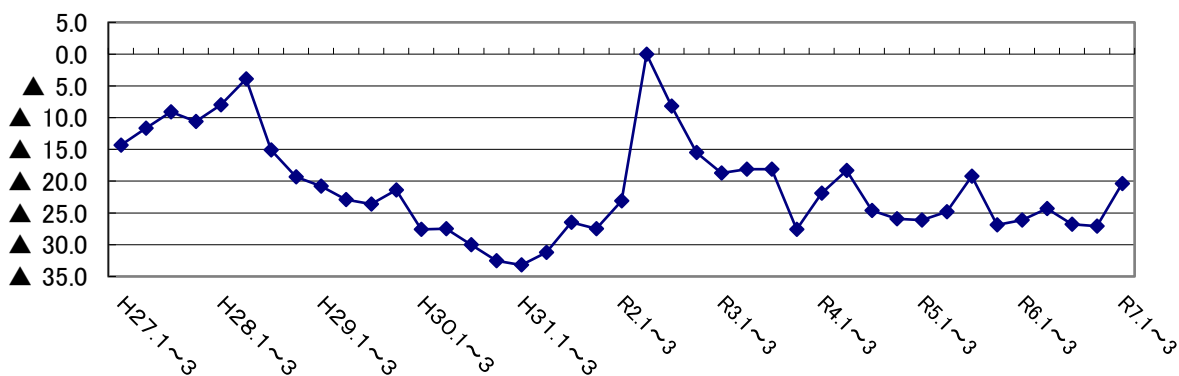
- ①繊維品製造業 11.1 ポイント、②食品製造業 0.0 ポイント、③小売業（飲・食料品）▲8.6 ポイント、④機械・金属製造業▲9.1 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲12.3 ポイント

過剰



不足

労働力(全体)



☆ 設備稼働率について（令和7年1～3月期実績） （建設・設備・製造業関係）

天気図



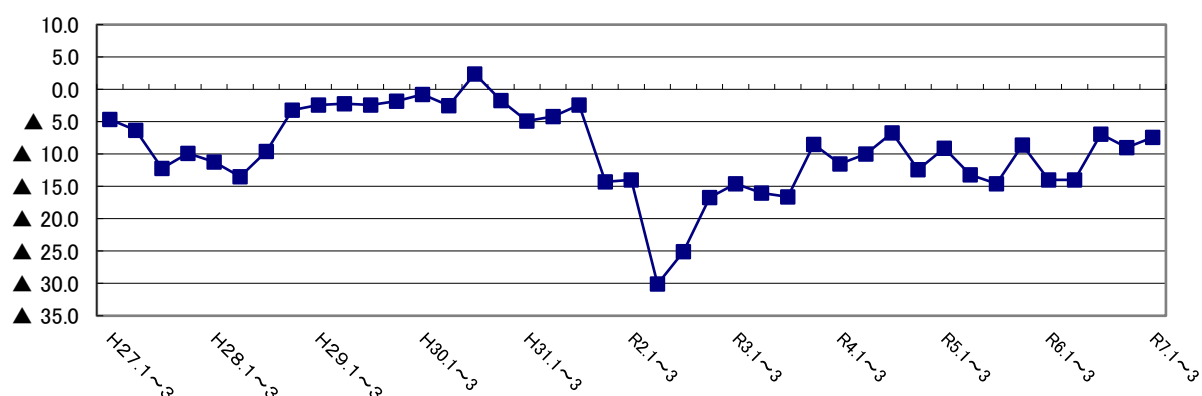
全業種 DI 指数▲7.4、前期比 1.6 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①繊維品製造業・その他の製造業 0.0 ポイント、②食品製造業▲6.4 ポイント、③化学・プラスチック製造業▲16.7 ポイント、④建設業・設備業▲20.0 ポイント、⑤機械・金属製造業▲21.1 ポイント

高い
低い

設備稼働率（建設・設備・製造業）



☆ 販売経費について（令和7年1～3月期実績） （商業・サービス業関係）

天気図



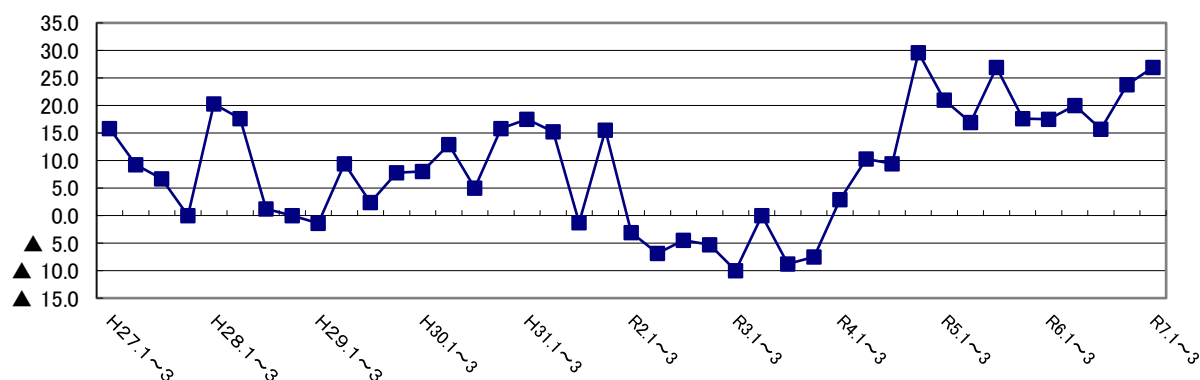
全業種 DI 指数 26.9、前期比 3.1 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①卸売業 42.9 ポイント、②飲食店 40.3 ポイント、③小売業（飲・食料品）29.0 ポイント、④サービス業 23.1 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）0.0 ポイント

増加
減少

販売経費（商業・サービス業）



☆ 今後3ヶ月先（令和7年4～6月期の見通し）の業況について

天気図



全業種 DI 指数▲21.6、前期比▲4.6 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

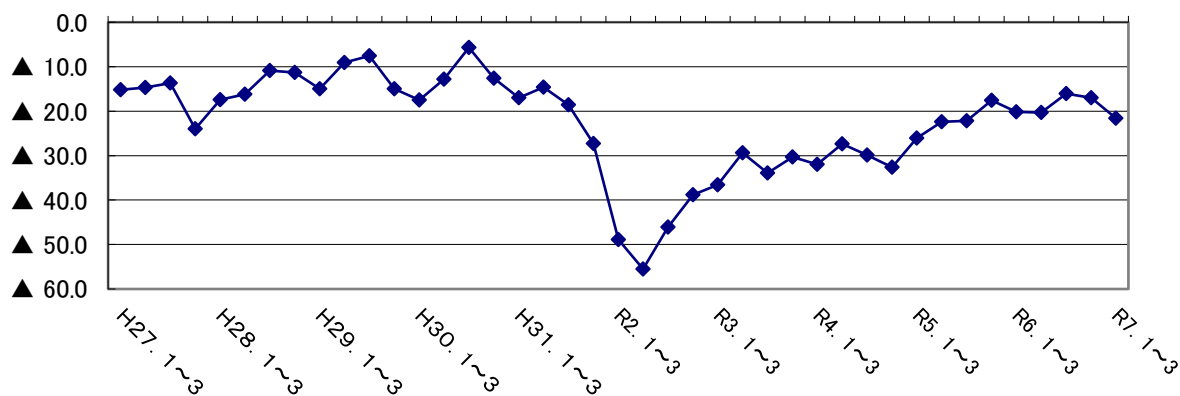
①小売業（飲・食料品）9.1 ポイント、②サービス業▲11.7 ポイント、③機械・金属製造業▲13.0 ポイント、④食品製造業▲13.6 ポイント、⑤建設業▲20.5 ポイント

良い



悪い

業況予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（令和7年4～6月期の見通し）の売上高について

天気図



全業種 DI 指数▲21.0、前期比▲2.4 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

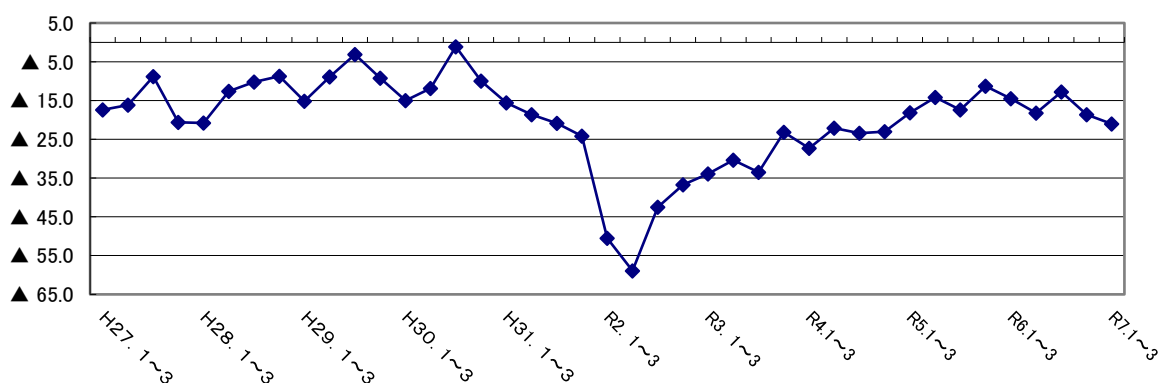
①その他の製造業・小売業（飲・食料品）0.0 ポイント、②食品製造業▲14.3 ポイント、③サービス業▲15.4 ポイント、④機械・金属製造業▲17.6 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲19.1 ポイント

良い



悪い

売上高予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（令和7年4～6月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

天気図



全業種 DI 指数 48.9、前期比 3.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

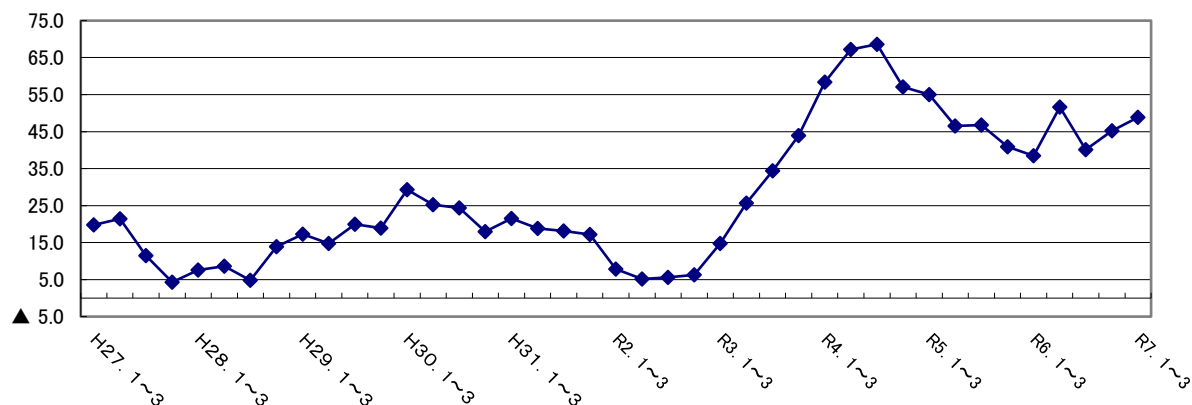
①飲食店 73.8 ポイント、②小売業（飲・食料品）72.4 ポイント、③設備業 60.0 ポイント、④建設業 54.5 ポイント、⑤サービス業 52.0 ポイント

上昇



下落

原材料仕入価格・仕入価格予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（令和7年4～6月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

天気図



全業種 DI 指数 12.7、前期比 3.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

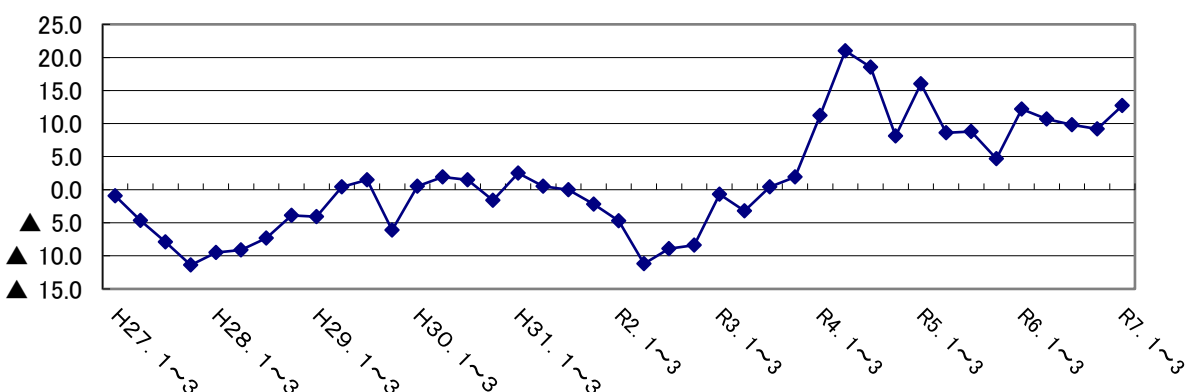
①小売業（飲・食料品）37.5 ポイント、②その他の製造業 27.3 ポイント、③卸売業 26.1 ポイント、④飲食店 21.1 ポイント、⑤食品製造業 20.0 ポイント

上昇

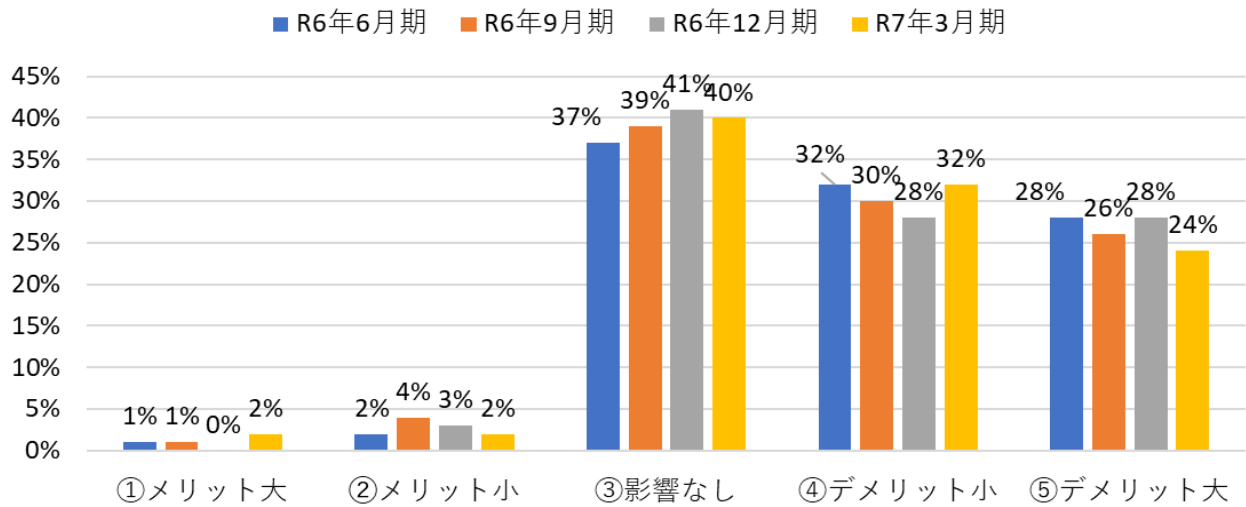


下落

受注販売価格・商品販売価格予想(全体)

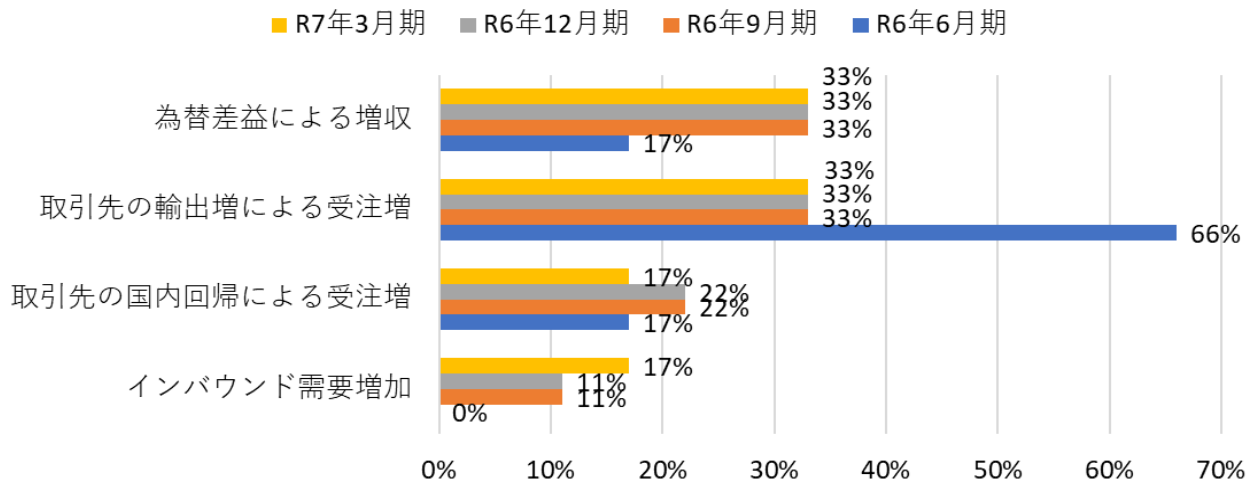


円安の影響



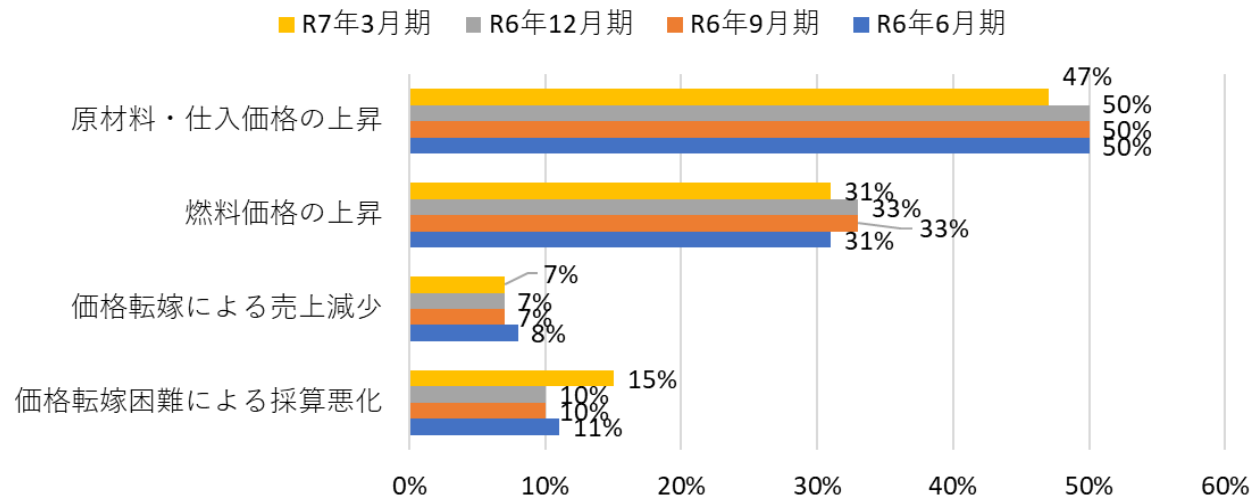
円安のメリット①②（大・小）

（複数回答有）



円安デメリット④⑤（小・大）

（複数回答有）



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・ものづくり補助金を活用したいが、申請代行業の手数料が高く中小企業の人件費増も限界に達していると思う。人件費が上がった分、物価も比例して上がるので厳しい。
- ・6年度はスポーツ関連の物件が公共において少ない様な気が致します。特に公立高校の物件にはこの地域では予算が少ないように思います。
- ・ガソリン代の上昇により経費が上がっている。

設備工事業

- ・人件費、材料代の高騰は続いている。市場は動いてはいるが、景気上昇の気配すらない。
- ・設備機器等の値上げ、管材や生コンの値上げによる影響(大)働き方改革の諸問題(休日、時間外労働の対応等)

繊維品製造業

- ・求人の応募に対してあまり手ごたえがありません。人手不足ですね。
- ・値上げ前の駆け込み需要で1月～3月は良いが、それ以降の売上減少が予想される。

食品製造業

- ・桜あんぱんを通じて多くのお取引様とつながっており順調ですが、やはり先が見えないですね。賃金アップや人材確保など問題は山積みしております。
- ・営業利益を出しづらい状態が続いている。

機械・金属製品製造業

- ・若手人材が不足しています。給与を上げていますが、大手が更に上を行っています。厳しい状況です。
- ・年末より製造業全体的に停滞感を感じる。お客様の情報によると秋頃まで変わらないとの事。

化学・プラスチック製品製造業

- ・化粧品、コロナ禍以降注文が激減です。
- ・価格上昇をなんとかしろ～。ですね。
- ・大変です。
- ・海外子会社による為替差損によつての減収。

その他製造業

- ・資材から燃料、廃材の処分費まで何でも値上がり止まりません。1年で何回もの場合もあり、経費ばかりが増えて困る。
- ・今後の予想は先行き不透明な感じがする。1月は良くなかったが2・3月は良かった。物流や各社在庫をしないため手作業の部分が多い弊社としては納期がきつい。売上増に対し経費増が先行している。利益増にはタイムラグがある。

卸売業

- ・後継者問題によるユーザーの廃業が相次ぎ、業況に影響している。
- ・先行きが不透明です。

小売業（飲・食料品）

- ・原材料の仕入れ価格が高騰しており、この先も見えない。インバウンド等のメリットは一切ないので、とにかく燃料費だけでもおちついてほしい。
- ・来客が年々減少している。それはいいとしてオリジナル製造依頼を全国から取りたい。それを増やしたい。
- ・国民所得増を望む。
- ・果物、野菜が高値で厳しいです。
- ・価格上昇に併せ品単価上昇、客単価上昇、ポイントサービスデーなどイベント日売上上昇。

その他の小売業（大型店含む）

- ・送料の値上げで利益減少（と商品に付属品が）
- ・人通りがない。
- ・原材料等の高値が続いている為、売上げが見込めない。
- ・全体に節約しているのがわかります。サイクルが全部長引いている。
- ・トランプ関税、全世界経済の低迷・不安・国内景気半年後下落するのではと考えます。高齢化加速により1年で1兆円が医療費上昇、薬価消滅、収入減少心配です。
- ・ウクライナ戦争が終結するまで、現状のままと思われます。
- ・お客さんが高齢になった為、ガソリンの消費少なくなり売上げがあまりありません。

飲食店

- ・コロナからの影響が続いたうえに、すべてにおいて価格上昇して経営は苦しい。
- ・人手不足により営業日数減少。人件費上昇により利益の減少。
- ・昨年末以降、人の流れが少なくなっているようです。
- ・物価上昇に伴い厳しい状況です。負けずにやらなきゃ！！ですね。
- ・米や魚介類の価格上昇が続いており、今後さらなる販売価格の上昇も考えられます。
- ・価格転嫁したいが、他店の様子を見ながらの為、なかなか上げられない。
- ・原材料の高騰、光熱費の上昇、人件費の賃上げ、すべての上昇でわるすぎる。これ以上やめろ。
- ・仕込価格がおよそ1.5～2倍になっている。
- ・12/26に新しくオープンしました。宜しくお願い致します。
- ・今年の新米の価格が？？？
- ・個人、法人関係なく飲食店としてこれからもやっていけるか不安で仕方ありません。
- ・アルバイト不足により、一時お店を休業させていただくこととなりました。アルバイト・社員を募集しております。
- ・大手企業は複数回値上げを行っているが、小規模事業者はなかなか価格改定出来ない状況で困っています。
- ・歓送迎会の予約もコロナ前まで行かなくても、それなりに予約をいただいて大変助かっています。
- ・仕入価格の上昇に売価改定がおいつかず、粗利が大幅に減少しております。なんとかならないでしょうか。
- ・米価や白菜、キャベツなどの野菜が大幅上昇しており、なかなか売価に転嫁できず困っております。
- ・歓送迎会の予約は平年並みにありますが、参加人数が少し少ないように感じます。
- ・アルバイト募集広告を出してもほとんど応募がなく、家族だけで回しているため休みがあまり取れません。

サービス業

- ・確定申告を終え、通年で考えると2025年度は仮に増収になっても前年比で減収となりそうです。
- ・ホテル、レストラン経営ですが「うち食」にコロナ以降習慣化しつつあり「わざわざ出なくても」又「ウーバーイーツ」などでという外出しなくなる傾向になってきたように思います。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和7年1月～3月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、178社（回答率61.4%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 Tel（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所